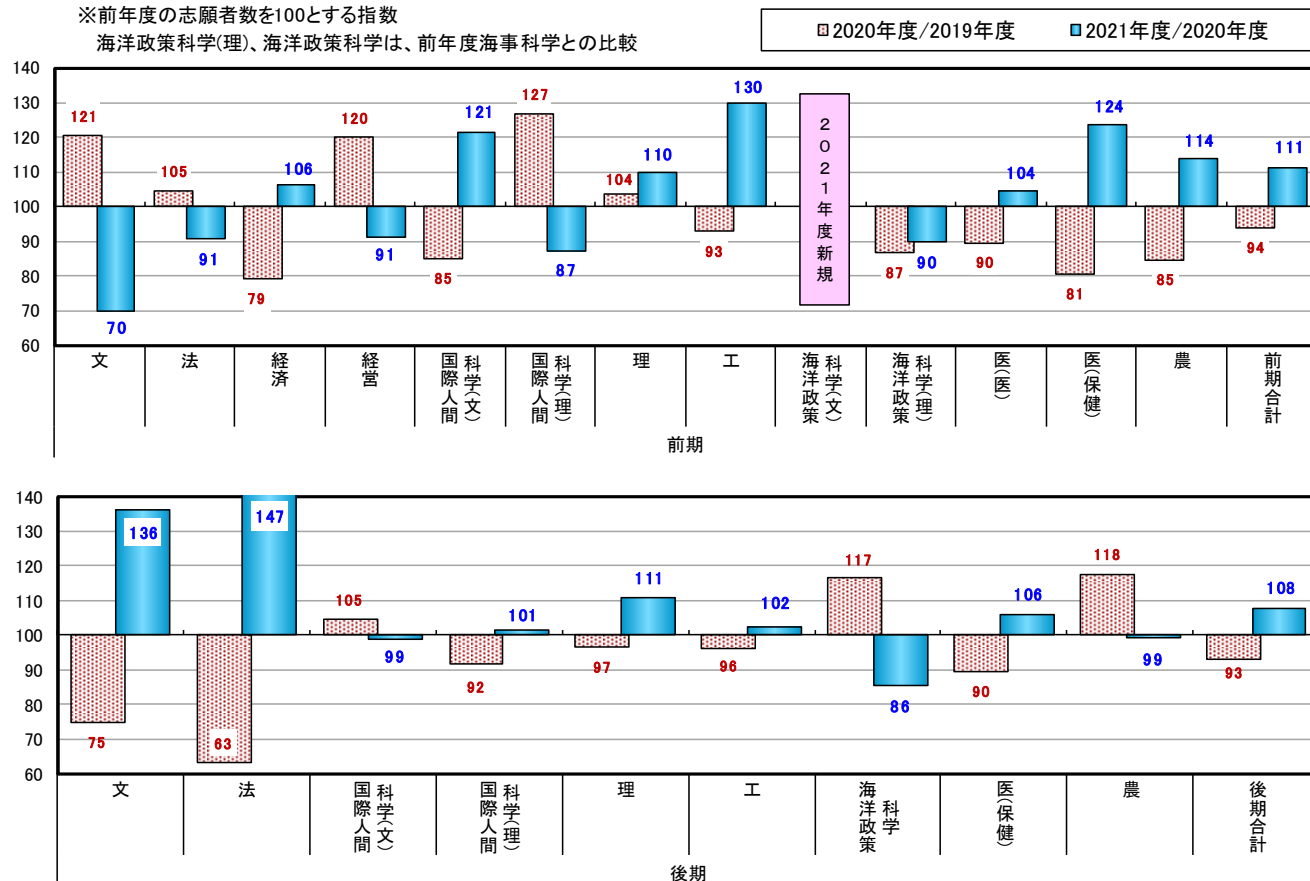


# 2021年度入試状況分析【国公立大】

神戸大：前期、後期ともに反動により増加

前期：+625人 後期：+296人

※前年度の志願者数を100とする指数  
海洋政策科学(理)、海洋政策科学は、前年度海事科学との比較



## 入試変更点

学部改組：海事科学(グローバル輸送科学、海洋安全システム科学、マリンエンジニアリング)…<前>143人、<後>47人  
→海洋政策科学(海洋政策科学)…<前>(理系科目重視)115人、(文系科目重視)30人、<後>(理系科目重視)40人

第1段階選抜基準変更：医(医)…センター試験900点満点中650点以上の者→約3倍(通過予定人数：276人)

選抜方法：医(保健/作業療法)…後期廃止

募集人員：医(保健/作業療法)…<後>3人→0人

工(応用化学)…<前>78人→85人、<後>26人→18人  
(情報知能工)…<前>85人→90人、<後>20人→15人

農(資源生命科学/応用植物)…<前>22人→21人

共通テスト：工(応用化学)<後>…国<120>+歴公<50>+数2<50>+理2<180>+外<200>=総点<600>  
→国<100>+歴公<50>+数2<50>+理2<200>+外<120>=総点<520>

(機械工)<前>…国<125>+歴公<75>+数2<50>+理2<50>+外<75>=総点<375> ※理：物 or 化 or 生 or 地学  
→国<80>+歴公<40>+数2<50>+理2<50>+外<50>=総点<270> ※理：物+化  
<後>…国<120>+歴公<50>+数2<50>+理2<180>+外<120>=総点<520>  
→国<80>+歴公<40>+数2<40>+理2<160>+外<160>=総点<480>

(情報知能工)<前>…国<125>+歴公<75>+数2<50>+理2<50>+外<50>=総点<350>  
→国<50>+歴公<50>+数2<50>+理2<50>+外<50>=総点<250>  
<後>…国<120>+歴公<50>+数2<50>+理2<150>+外<180>=総点<550>  
→国<50>+歴公<50>+数2<50>+理2<200>+外<150>=総点<500>

(建築)<前>…国<125>+歴公<75>+数2<50>+理2<50>+外<75>=総点<375>  
→国<100>+歴公<50>+数2<50>+理2<50>+外<50>=総点<300>  
<後>…国<120>+歴公<50>+数2<50>+理2<130>+外<250>=総点<600>  
→国<100>+歴公<50>+数2<50>+理2<150>+外<200>=総点<550>

(市民工)<後>…国<100>+歴公<50>+数2<50>+理2<150>+外<200>=総点<550>  
→国<100>+歴公<50>+数2<30>+理2<150>+外<170>=総点<500>

個別試験：工(機械工)<前>…数<150>+理2<150>+外<125>=総点<425>  
→数<180>+理2<180>+外<170>=総点<530>  
<後>…数<280>→数<320>

(情報知能工)<前>…数<150>+理2<150>+外<150>=総点<450>  
→数<200>+理2<200>+外<150>=総点<550>  
<後>…数<250>→数<300>

(建築)<前>…数<150>+理2<150>+外<125>=総点<425>→数<200>+理2<150>+外<150>=総点<500>  
<後>…数<200>→数<250>

(市民工)<後>…数<250>→数<300>

## 2021 年度入試状況分析【国公立大】

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は前年度減少の反動で625人(111)の増加。文理別では、文系は148人(106)のやや増加、理系は477人(116)の大幅増加。改組された海洋政策科学を除くと、前年度から同じ増減が連続した学部(医学部は学科)は理(110)のみ。後期は2年連続減少の反動で296人(108)の増加。文理別では、文系は267人(121)、理系は29人(101)の増加。すべての学部(医学部は学科)で前年度と逆の増減。

### ＜前期日程＞

- 文(70)は、前年度大幅増加の反動から大幅減少。志願倍率は3.0倍→2.1倍にダウンして、2014年度以来の低倍率。
- 法(91)は、前年度やや増加の反動で減少。
- 経済(106)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。方式別では、募集人員が160人と最大の(総合)(109)は前年度大幅減少の反動で増加。一方で、(数学)(65)は大幅減少で志願者数は募集人員と同数に留まり志願倍率は1.0倍。
- 経営(91)は、前年度大幅増加の反動で減少。志願倍率も3.9倍→3.6倍へダウン。
- 国際人間科学(117)は、前年度減少の反動で大幅増加。募集単位別では、前年度5募集単位別中唯一増加の(環境共生(理科系))(87)が反動で減少、他の4つの募集単位は増加と前年度と逆の増減となった。特に(環境共生(文科系))(135)、(発達コミュニティ)(127)の大幅増加が目立った。
- 理(110)は、3年連続増加。学科別では、前年度2年連続大幅増加だった(惑星)(76)、(生物)(77)、(数学)(77)はいずれも80%を下回る大幅減少だが、前年度大幅減少の反動による(物理)(188)、(化学)(184)の激増で学部全体では増加となった。
- 工(130)は、大幅増加。学科別では、大幅減少の(電気電子工)(82)を除いた5学科で増加。特に、(情報知能工)(193)、(機械工)(175)は激増。系統への人気も高い(情報知能工)は、志願者数416人で募集人員が85人以上になった2017年度以降で最多、募集人員が5人増加(募集人員の前年度対比指数106)して90人となったが、志願倍率は4.6倍の高倍率となった。
- 海洋政策科学は、海事科学を改組し、新規に(文系科目重視)を新設した。(理系科目重視)(90)は旧海事科学との比較では、2年連続減少だが、募集人員の減少(募集人員の前年度対比指数80)で志願倍率は2.8倍→3.1倍にアップし、競争は激化した。一方で、(文系科目重点)は5.5倍の高倍率だった。
- 医(医)(104)は、3年連続減少の反動は小さく、やや増加に留まった。共通テスト360点：個別試験450点と比較的共通テストの比重が高く、共通テストにおける超高得点層の減少も影響した。
- 医(保健)(124)は、前年度大幅減少の反動から大幅増加。専攻別では、4専攻全てが増加。(保健/看護)(112)以外の3専攻は大幅増加。特に(保健/検査技術科学)(155)は50%以上の大幅増加。
- 農(114)は、前年度大幅減少の反動で増加。学科・コース別では、6つの募集単位のうち、(資源生命科学/応用植物)(94)のみ減少で、他の5つの募集単位はいずれも増加。特に、(食料環境システム/生産環境工)(143)、(資源生命科学/応用動物)(122)、(食料環境システム/食料環境経済)(120)が大幅増加。

### ＜後期日程＞

- 文(136)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加し、志願者数は募集人員が20人になった2017年度以降で最多。志願倍率も10.9倍→14.9倍にアップ。
- 法(147)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。2年振りに志願者数は600人を上回り、志願倍率も10倍を超えた。
- 国際人間科学(99)は、2017年の学部改組後初めて増加した前年度とほぼ同数の志願者数。学科別では、(発達コミュニティ)(83)が大幅減少、一方で前年度大幅減少した(子ども教育)(123)は大幅増加。
- 理(111)は、2年連続減少の反動で増加。学科別では、前年度まで3年連続減少だった(物理)(145)が大幅増加、一方で(生物)(86)が大幅減少。
- 工(102)は、前年度並。学科別では、(建築)(133)、(情報知能工)(118)が大幅増加、一方で(市民工)(73)、(機械工)(83)が大幅減少。
- 医(保健)(106)は、2年連続減少の反動により、やや増加。専攻別では、(保健/検査技術科学)(132)が大幅増加。
- 農(99)は、前年度の反動による大幅な増減が止まり、前年度並。学科・コース別では、(食料環境システム/食料環境経済)(113)、(生命機能科学/応用生命科学)(111)が増加、前年度ほぼ倍増だった(食料環境システム/生産環境工)(83)は大幅減少。